

次期「関西広域救急医療連携計画(中間案)」 の概要について

平成26年12月20日

関西広域連合・広域医療局

次期「関西広域救急医療連携計画」の概要(案) 計画期間:平成27年度～平成29年度

広域医療局

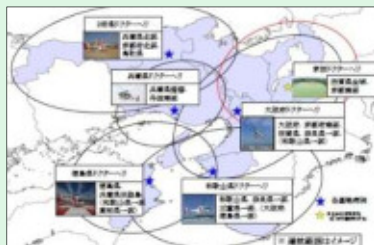
広域計画 (H26～H28)	重点方針 <ul style="list-style-type: none"> ①「関西広域救急医療連携計画」の推進 ②広域救急医療体制の充実 ③災害時における広域医療体制の整備・充実 ④新たな連携課題に対応した広域医療体制の構築 			
分野別計画	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding-right: 10px;"> 現行計画 (H24～H26) <ul style="list-style-type: none"> ①5機のドクターヘリによる運航体制の実現 ②関西広域応援・受援実施要綱策定 ③災害医療コーディネーターの整備 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;"> </td> <td style="width: 40%; padding-left: 10px;"> 次期計画 (H27～H29) <ul style="list-style-type: none"> ①ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実 ②災害時における広域医療体制の強化 ③課題解決に向けた広域医療連携体制の充実 </td> </tr> </table>	現行計画 (H24～H26) <ul style="list-style-type: none"> ①5機のドクターヘリによる運航体制の実現 ②関西広域応援・受援実施要綱策定 ③災害医療コーディネーターの整備 		次期計画 (H27～H29) <ul style="list-style-type: none"> ①ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実 ②災害時における広域医療体制の強化 ③課題解決に向けた広域医療連携体制の充実
現行計画 (H24～H26) <ul style="list-style-type: none"> ①5機のドクターヘリによる運航体制の実現 ②関西広域応援・受援実施要綱策定 ③災害医療コーディネーターの整備 		次期計画 (H27～H29) <ul style="list-style-type: none"> ①ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実 ②災害時における広域医療体制の強化 ③課題解決に向けた広域医療連携体制の充実 		

関西2千万府民・県民の「助かる命を助ける！」 「安全・安心の医療圏“関西”」の実現

ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実

府県域を越えたドクターヘリの運航

- ◆「京滋ドクターヘリ」H27年度運航開始
- ◆6機体制による「30分以内での救急搬送体制」の確立
- ◆近隣県ドクヘリとの連携
- ◆自衛隊ヘリとの連携
- ◆搭乗人材の育成
- ◆ランデブーポイントの充実
- ◆運航時間延長及び 夜間運航検討



災害時における広域医療体制の強化

「南海トラフ巨大地震」「近畿圏直下型地震」に備えて

- ◆被災地医療を統括する
「災害医療コーディネーター」の養成
- ◆災害医療訓練の実施
- ◆薬剤・医療資機材の確保、薬剤師等の
災害医療訓練参加
- ◆「DPAT(災害派遣精神医療チーム)」
先遣隊の設置



課題解決に向けた広域医療連携体制の充実

危険ドラッグ対策

- ◆情報共有

薬物リスト	標準品リスト
危険ドラッグ買い上げ品目	
- ◆合同研修会の実施

周産期医療の連携体制構築

広域医療分野の連携

- ◆情報共有
- ◆広報・啓発

ジェネリック医薬品普及促進	
臓器移植推進	アルコール依存症対策

■今後の取組

◆ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実

(1) 30分以内での救急搬送体制の確立

救命効果が高いと言われる「30分以内」での救急搬送体制の確立に向け、滋賀県全域及び京都府南部を運航範囲とする「京滋ドクターヘリ」を平成27年度に導入。

6機体制

(2) 二重三重の補完体制の構築

二重・三重の補完体制を構築するため、「近隣県ドクターヘリ」や「自衛隊ヘリ」との連携推進。

(3) ドクターヘリ搭乗人材の育成

基地病院において、業務を通じた実践的な訓練による搭乗人材の育成。

(4) きめ細やかな運航体制の構築

ランデブーポイント(臨時離着陸場)の更なる充実。(2, 500箇所設置へ)

(5) 運航時間延長及び夜間運航検討

日の出から日没までの運航時間の延長の可能性について検討。

◆災害時における広域医療体制の強化

「南海トラフ巨大地震」や「近畿圏直下型地震」をはじめとした大規模災害に備えて

平時から災害時へ

災害時から平時へ

「つなぎ目の無い」シームレスな医療提供体制の構築

(1) 「災害医療コーディネーター」のさらなる養成

(2) 広域による実践的な「災害医療訓練」の実施

(3) 医薬品や医療資機材の確保

大規模災害時における薬剤師等の活動に関する知識の習得

(4) 災害派遣精神医療チーム(DPAT)先遣隊の設置
(全ての構成府県に設置へ)

◆課題解決に向けた広域医療連携体制の充実

(1) 薬物乱用防止対策

「危険ドラッグ」の撲滅に向け、「薬物リスト」の情報共有を図るとともに、検査担当者の合同研修会の開催

(2) 周産期医療の連携体制の構築

「近畿ブロック周産期医療広域連携」の体制を拡充し、
「関西広域連合周産期医療広域連携」体制を構築

(3) 広域医療分野の連携

- ・ジェネリック医薬品の普及促進に向けた情報共有・広報
- ・臓器移植の普及促進に向けた情報共有・広報
- ・アルコール依存症対策の情報共有・連携検討